

第 90 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 4 月 22 日(月)17：50～18：30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題>

- ◇ 沖縄県の「まん延防止等重点措置」の効果が表れつつあるものの、引き続き感染状況を注視する状況にあることについて確認した。
- ◇ まん延防止等重点措置区域に宮古島市を追加することを決定した。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画統括監、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、上原 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、下地 文化観光スポーツ部長、伊川 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、糸数 技監兼保健衛生統括監、諸見里 医療企画統括監、木村 宮古・八重山保健所長（TV 会議システム参加）

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、新規陽性者及び療養者の状況について報告。【資料 1】
 - ✓ 本日の新規感染者は 120 人、療養者数は 1,300 人を超えている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 配布資料のとおりであり、説明を省略した。【資料 2】

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1～3-9】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
 - ✓ 7つのうち3つの指標で第4段階となっている。
 - ✓ 国の指標では療養者数、病床占有率、重症者用病床占有率、新規感染者数でステージⅣ相当となっていて、残り3つでステージⅢ相当となっている。先週比較の数値

は減少している。

- ✓ 非コロナの一般病床利用率については、本島で 95.0%であり、県全体でも 94.1%と高い水準で推移している。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人当たり新規感染者数は、全国ワースト 3 位である。1 位は大阪、2 位は兵庫 4 位は奈良、5 位は東京、と続いている。
- ✓ 保健所管内ごとの 1 週間毎の新規感染者比較。沖縄市やうるま市など中部保健所管内は少しずつ減少しているように見える。逆に、南部保健所管内や宮古島市がかなり増加している。全体数は先週の 792 名から今週は 745 名となっており、増加が止まったとみている。
- ✓ まん延防止重点措置区域の 9 つの市以外の地域の 1 週間ごとの推移について、宮古島市で増加傾向があり、南部保健所管内の町でコンスタントに感染者が確認されており、少しずつ上昇している状況。石垣市は大きな変化はない。
- ✓ 市町村別の 10 万人あたり直近 1 週間の新規感染者数を比較すると、宮古島市が 86.04 人とかなり高くなっている。伊江村、伊平屋村、伊是名で 2 人ずつと、小規模離島で少しずつ感染者が出ている。そこから感染が拡がらないか、注意が必要である。
- ✓ 感染経路が飲食店関連と推定される症例については 62 名となっていて前の週より少し落ち着いている。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は、20%前後で推移している。
- ✓ 中等症以上の症例数が増えてきていて、新しい患者の入院調整が、非常に困難となってきた状況である。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】

- 合計で 184 人の陽性者の方が療養している。そのうち宮古が 29 人、石垣が 10 人となっている。

(5) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告。
 - ✓ 最近では、宮古島市内のキャバクラで2件のクラスター発生が確認されている。
 - ✓ 20代の従業員が集団で感染しており、宮古島全体の感染者数増加に影響していると考えている。

(6) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料5】

- 総括情報部から、宮古・八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古・石垣の医療フェーズについて、4月20日から最大規模の5に引き上げた。
 - ✓ 宮古病院には14名、八重山病院には10名の入院患者がおいる。
 - ✓ 宮古島市では連日10名以上の新規感染者数となっており、急激なペースで感染者数が増えている。
- 宮古保健所長兼八重山保健所長から、宮古島の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古の今日の新規感染者数は6名。宮古病院には14名、宮古島徳州会病院に4名入院している。宿泊療養施設には32名入所。
 - ✓ 医療がひっ迫しており、宿泊療養施設も入所者数の上限に到達したため、本日から宮古地域でも自宅療養を開始しており、自宅療養者は12名。
 - ✓ 直近1週間の感染者数は58名で、人口10万人あたり100人を超えており、かなり厳しい状況となっている。
 - ✓ 4月19日に宮古地方本部会議を開催した際、病院長から宮古島市に対して、まん延防止等重点措置区域の適用について検討した方が良いと発言があった。
 - ✓ 現状を踏まえ、国立感染症研究所のクラスター対策班の疫学チーム派遣を要請した方が良いと判断し、依頼したところ、来週から来ていただける予定。
 - ✓ 患者は20代から40代の若い世代が多く、疫学調査で濃厚接触者を追っている状況ではあるが、これまでの経験から、いずれ高齢者施設に拡がると想定される。そのため、何らかの強い対策が必要と考えている。

- 宮古保健所長兼八重山保健所長から、八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 八重山保健所管内の人口 10 万人あたり新規感染者数は 20 人くらいで数自体は少ないが、先ほど小規模離島で子どもの陽性者が確認されたり、入院中の高齢者の陽性が確認されたりするなど、感染経路が不明な症例がある。

(7) 変異株について【資料 6】

- 総括情報部から、変異株スクリーニング検査の結果等について報告。
 - ✓ 感染力が従来株の 3 割から 4 割アップすると言われている N501Y 変異株については、衛生環境研究所で 23 件検査したうち 2 件が陽性で、前の週より少し減っている。民間の検査機関における検査数と合わせて、これまでに県内で 93 例見つかっている。
 - ✓ E484K 変異株の検査は月に 1 回であるため、今回新たなデータの更新はない。

3 議題

(1) 沖縄県内の感染状況および対応について

- 総括情報部から、県内の感染状況について説明。【資料 7、資料 3】
 - ✓ 直近 1 週間の新規感染者数について、前の週と比較すると 801 名から 754 名と高水準で推しているものの、実効再生産数は 4 月 11 日の週が 1.25、翌週には 0.98 と経過している。
 - ✓ 療養者数について 4 月 14 日に 1, 210 名、今週は 1, 300 名を超えて、過去最多を記録している。
 - ✓ 入院者数は先週 411 名から今週は 454 名と増加傾向が続き、医療体制のひっ迫が進んでいる。
 - ✓ 変異株については、先週 12.1%、今週 13.8%と、検査した範囲内だが、県内でも徐々に割合が増加している。
 - ✓ 各保健所管内の状況は、横ばいで推移しているが、南部保健所、宮古保健所管内では感染者が急増している。

- ✓ 宮古保健所管内では3例の変異株が確認されている。
- 総括情報部から、宮古地域に対する対応案について説明。【資料7、参考資料】
 - ✓ 宮古島地域での感染が急拡大していること、宮古島市から県知事宛てに措置区域への追加要請があること、変異株が確認されていること、等の理由から、まん延防止等重点措置区域への追加が必要であると考え。
 - ✓ 必要な取組としては、市町村、業界団体と連携した巡回活動の強化、各種イベントの制限、来島自粛の更なる呼びかけ等。
- 総括情報部から、国の緊急事態宣言への対応案について説明。【資料、資料3】
 - ✓ 国の緊急事態宣言が発令された場合に想定される実施内容は、休業要請、イベントの開催制限、緊急事態宣言地域からの来県自粛、学校における部活動の制限などが想定される。
 - ✓ 県内の医療関係の専門家からは、緊急事態宣言を要請すべきとの強い声がある。
 - ✓ 厚労省のアドバイザリーボードでは、5月には沖縄県内の感染のうち9割は変異株に置き換わる見込みとの予測が示されており、厳しい状況が想定される。
 - ✓ 一方、4月12日からまん延防止等重点措置を実施し、全県での外出・移動の自粛、営業時間短縮を要請中である。
 - ✓ 医療提供体制への負荷は当分続く見込みであり、県は医療提供体制の確保のため、4月19日に患者急増時の緊急対応方針を発出した。各医療機関に協力を求めているところ。
 - ✓ 新規陽性者数について、5日間は前週の同曜日よりも減少しており、増加傾向に一定の歯止めがかかっているとみられる。
 - ✓ まん延防止等重点措置の効果が出るには、2週間程度を要するため、効果を注視する必要がある。効果がみられない場合は、国への緊急事態宣言発令の要請も視野に検討する必要がある。

- ✓ 厚生労働省のアドバイザリーボードの資料や、他都府県の動向を参考資料として添付した。
- ✓ 緊急事態措置の内容がどのようになるか不透明であるが、大阪府が掲げている土日祝祭日は休業・平日は20時までの時短要請とする対策が有力視されている。政府は、明日（4/23）に対策本部会議を開催し、緊急事態宣言を発令する見込み。
- 宮古島市をまん延防止等重点措置区域に追加する場合の県の対応方針変更案について説明。

（質疑応答）

- 資料について、議題資料なのか説明資料なのかが分かりにくいとの指摘あり。
- 今回、宮古島市を追加することについて、感染拡大地域への対応や、離島市町村への対応についても、しっかり対応していくということを踏まえて知事メッセージとして発信する必要があるとの発言あり。
- 今回、県の対処方針を変更して宮古島市を重点措置区域に追加することとした場合、今日付けで追加するが、営業時間短縮の要請期間は4月24日からでよいのか。
- ✓ そのとおりとし、対処方針案を修正することを確認した。

.....
<議題のまとめ>
☆県内の感染状況は、感染者数の増加に歯止めがかかったとみられ、まん延防止等重点措置の効果を4月26日まで注視することとする。
☆現在、本島内9市を対象としているまん延防止等重点措置区域に、宮古島市を追加することを決定。
.....

4 その他報告

- 今後の状況によっては、国から緊急事態宣言の対象地域に指定されることや、急きよ感染症専門家会議や経済関係団体に意見を求めること等が想定され、土日の対応が必要となる可能性があるため、適宜対応いただきたい、との発言あり。

5 閉 会